

2012年3月期 決算説明会



サンケン電気株式会社

2012年5月9日



2011年度 連結業績



Power Electronics for Next "E" Stage

(単位：億円)

	10年度	11年度			前年比 (%)	公表値	達成率 (%)
	通期	上期	下期	通期			
売上高	1,449	661	657	1,318	-9.0	1,410	93.5
デバイス	998	483	470	953	-4.5	1,030	92.5
CCFL	59	10	9	20	-66.1	20	100.0
PM	222	98	82	180	-18.9	190	94.7
PS	169	71	95	165	-2.4	170	97.1
営業利益	61	13	27	40	-34.4	50	80.0
経常利益	50	4	26	30	-40.0	32	93.8
当期純利益	-9	-13	17	4	-	5	80.0

2012年度 通期業績 予想 (連結)

(億円)

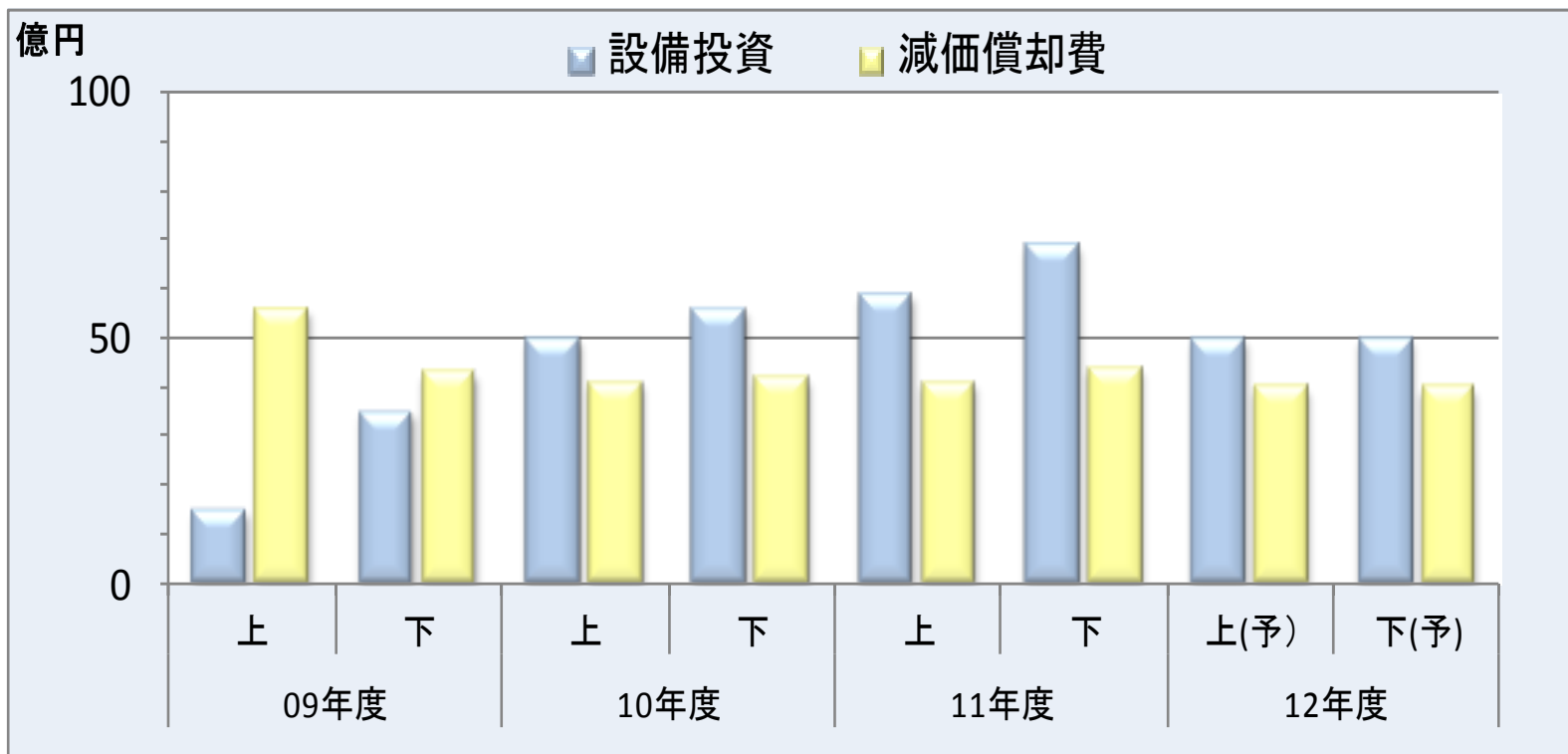
	11年度 実績			12年度 (予想)			通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	金額	率 (%)
売上高	661	657	1,318	695	755	1,450	+132	+10.0
デバイス	483	470	953	512	548	1,060	+107	+11.2
CCFL	10	9	20	7	6	13	-7	-35.0
PM	98	82	180	100	100	200	+20	+11.1
PS	71	95	165	76	101	177	+12	+7.3
営業利益	13	27	40	22	52	74	+34	+85.0
経常利益	4	26	30	14	44	58	+28	+93.3
当期純利益	-13	17	4	3	29	32	+28	8倍

【業績予想の前提】

- ・ 為替レート: 80円/US\$



設備投資・減価償却費



12年度計画： 設備投資 100億円（国内50）、減価償却費 80億円（国内40）

成長に向けた大型投資は 11年度で一巡 12年度は 通常の増産投資中心

国内		海外	
石川：	白物IPM・車載 増強	PSI	: Fab III
福島：	メジャー増強、F-LED増産	大連	: デバイス後工程 増強
		アルゴ	: タイ新工場 土地取得 AMPI増産

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。